

(仮称) 上曽トンネルが貫通しました!



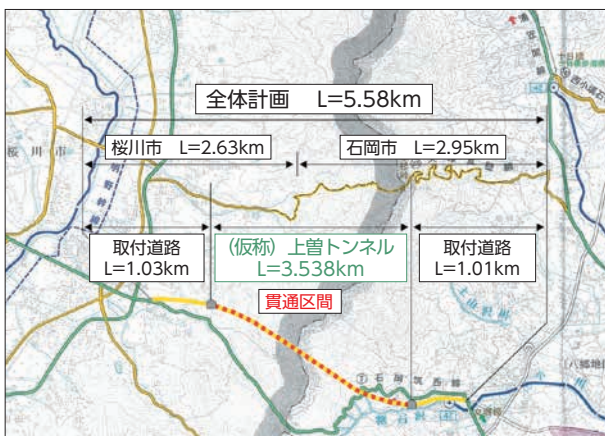
事業概要

(仮称) 上曽トンネルは、石岡市と桜川市をつなぐ県内で最も長いトンネルです。

水郷筑波国定公園内の上曽峠を含む石岡市上曾から桜川市真壁町山尾までの県道は、幅員狭小、線形不良かつ急こう配の峠道であることから、大型車の多くが迂回を余儀なくされ、冬季には、路面凍結により通行止めになるなど、交通の難所になります。

この区間にトンネルを通すことにより、車両の走行安全性が高まり、自然環境に左右されない交通網が確保されるため、日常生活の利便性の向上による沿線地域の交流促進、災害時における緊急輸送路の確保、さらには、県南・県西を結ぶ基軸が形成されることから地元産業や物流・観光を支える路線としても期待されるそうです。

国土交通省 道路建設課 TEL 43-1111 (内線 1130)



全体計画

(区間) 石岡市上曾～桜川市真壁町山尾
○事業延長 L = 5.58km (うちトンネル区間 L = 3.538km)
・石岡市区間 2.95km、桜川市区間 2.63km
・石岡市トンネル区間 1.939km、桜川市トンネル区間 1.599km
・道路幅員W = 8.0 m (車道幅員片側 3.25 mの2車線 路肩 片側 0.75 m×2)
○事業開始年度 平成30年度から(令和7年度完成を見込む)

これまでの経緯

平成2年度から調査を開始した(仮称)上曾トンネル整備事業は、平成7年度に事業着手に至りましたが、多額な事業費が影響するなどして事実上休止となり、長年の懸案となっていました。

平成27年度より事業再開に向け、石岡市・桜川市の両市が整備手法や財源確保について協議を進め、茨城県より「合併市町村幹線道路緊急整備支援事業支援対象道路」の指定を受け、石岡市と桜川市の両市が事業主体となり、国の財源を活用して整備を進めることとなりました。

年月日	内容
平成2年	調査開始
平成7年	事業化およびルート決定
平成27年	石岡市・桜川市の両市で事業再開に向けた検討を開始
平成29年	上曾トンネル整備事業調整協議会発足(石岡市・桜川市・茨城県) (仮称)上曾トンネル整備区間を市道として認定
平成30年3月	茨城県において「合併市町村幹線道路緊急整備支援事業」に指定
平成30年11月30日	合併市町村幹線道路緊急整備支援事業による(仮称)上曾トンネル整備に関する覚書締結(石岡市・桜川市・茨城県)
平成31年1月10日	合併市町村幹線道路緊急整備支援事業支援対象道路の整備に関する平成30年度委託締結(委託先 茨城県)
令和元年11月19日	(仮称)上曾トンネル整備事業に関する地元説明会
令和元年12月18日	(仮称)上曾トンネル整備事業に関する地元(地権者)説明会
令和2年9月30日	(仮称)上曾トンネル本体工事(石岡工区説明会)
令和3年2月16日	トンネル本体工事掘削開始に伴う「安全祈願祭」の開催
令和5年5月9日	トンネル貫通

(仮称)上曾トンネルでもっと便利に！

現在、上曾峠を車で超える場合には、15分程度かかります。

トンネルは、制限速度時速50キロで走行した場合、7分程度で通過できる計算になります。

